

平成 25 年 8 月 5 日

情報通信審議会 情報通信技術分科会
陸上無線通信委員会 主査 殿

郵便番号 105-7317
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクモバイル株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7316
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクテレコム株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7304
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクBB株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

当該意見募集に関しまして、今回このような意見募集の機会を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。

「陸上無線通信委員会 報告(案)に対する意見募集」に関し、別紙のとおり意見を提出します。

尚、問い合わせ等は、下記連絡先で対応致しますので、宜しくお願い致します。

(連絡先)

電話番号

電子メール

意見書

UWB 無線システムが使用する周波数(3,400～4,800MHz及び7,250～10,250MHz)のうち(3,400～3,600MHz)は、国際電気通信連合(ITU)がIMT帯域に指定する国際標準バンドであり、また(3,600～4,200MHz及び4,400～4,900MHz)は、我が国としてIMT帯域に推奨していることから、将来における移動通信用周波数の逼迫を考慮し、UWB無線システムは(7,250～10,250MHz)のみで使用するべきであり、(3,400～4,800MHz)におけるUWB無線システムの利用は除外するべきであると考えます。

UWB無線システムの普及台数は、報告書(案)によると、導入当初である平成18年度の9,573台以降、減少傾向にあり、平成21年度以降は毎年平均7,000台程度の増加にとどまっています。このうち、通信用途UWB無線システムは、急速に伸びる用途は見当たらないことから、導入当初の予測に比べて、今回の予測は1600分の1程度しか見込めない結果となっています。また、センサー用途UWB無線システムは、導入10年前後から伸び率の鈍化が始まり、以降はほぼ横ばい状態になると考えられることにより、通信用途UWB無線システムと同様に、今後急速に伸びる用途は見当たらない結果となっています。

一方で、最近の総務省の情報通信統計データベース(我が国の移動通信トラフィックの現状:平成25年3月分)によれば、移動通信事業者6社の移動通信のトラフィック量は年間約2倍の伸び率を示しており、今後10年間で約1,000倍のトラフィック量の増加が見込まれ、更なる移動通信用周波数の確保等の逼迫対策が必要です。この逼迫対策として、移動通信システムは更なる屋内への対策も必要であり、これを条件とする干渉検討も重要であると考えます。また、移動通信用周波数の確保等の逼迫対策のためには、UWB無線システムが使用する周波数(3,400～4,800MHz)の移行も例外ではないと考えます。

以上